



2025年12月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島  
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL

0573-26-1111(内線208)

FAX

0573-25-7129

MAIL

oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

## 活動の時間を選択！ 参加者の状況に対応した家庭教育学級



瑞浪市立瑞浪北中学校 家庭教育学級

## 「卒業式のコサージュづくり」



取材日 令和7年10月29日(水) 17:30~19:00

講師 関 ゆかり 先生(フラワー・アレンジメント「Kurumi くるみ」)

参加者 Bコース選択 3年生保護者31名と家庭教育委員5名、PTA会長

「コサージュ作り、みんなでワイワイやれたのでとても楽しかったです。」



## 【この取組の紹介(保護者への案内文から)】

瑞浪北中学校家庭教育委員会では、昨年度に引き続き「卒業式」にお子様の胸元を飾るコサージュの製作についてご案内いたします。なるべく多くの方にご参加頂けるよう、3つのコースを設けてあります。各コースについては以下をご覧ください。準備の都合上、各コースの人数を把握したいと思いますので、下の調査票にてご希望のコースをお知らせください。よろしくお願ひいたします。卒業を迎えるお子様へのプレゼントとしていかがでしょうか。多数のご参加お待ちしております。

講師の関ゆかり先生は、土岐、瑞浪市を中心に行花アレンジメントを教えてみえます。

今回のコサージュづくりは、作品としては小さいので、細かい所がポイントになってきて、製作がむずかしいそうです。

## 各コースの選択割合

Aコース 約50%

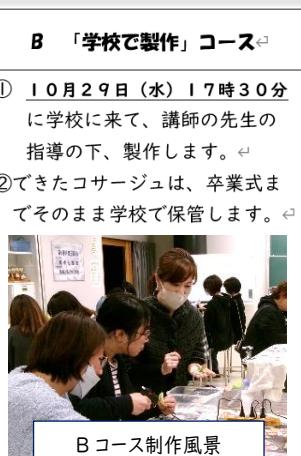
Bコース 約27%

Cコース 約23%

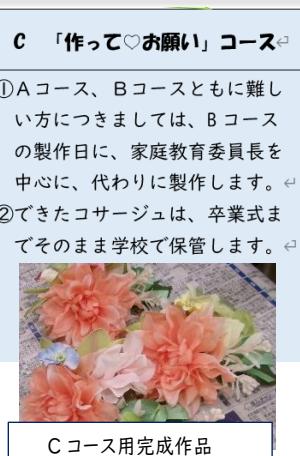
柴田PTA会長から、「卒業式で子どもたちに親の手作りのコサージュをつけて臨むことが『瑞浪北中学校の伝統』になっている」ことを伺いました。今年は、昨年度よりCを選択された方が少なかったそうです。



Aコース用キット(委員さんが配付準備)



Bコース制作風景



Cコース用完成作品

## 家庭教育委員の感想(当時は2時間前から集合して準備をしてみました)

(Cコースの方の分も制作して)たいへんかなと思いましたが、楽しく制作できました。子どもが2年生にいますので、来年のためになりました。(笑顔)

○「卒業式のコサージュ作り」の家庭教育学級、保護者がコースを選択して取り組める、その工夫がすごいと思いました。またその工夫を支える委員さんの献身的な下支えがあることもわかりました。瑞浪北中学校の卒業式。その伝統の一翼を担っているという使命感、気概を感じる取組でした。専

## 学校・家庭・地域が連携して防災教育を推進 親子の話し合いの大切さ

### 防災ワークショップ「中学生だからできる防災」

日 時 令和7年10月24日(木) 13:50~14:40  
場 所 多治見中学校 武道場  
講 師 名古屋工業大学 兼田研究室学生 稲垣碧乃さん、酒井彩花さん  
顧 問 清流の国ぎふ防災・減災センター 岩井慶次さん(防災士)  
協 力 多治見市防災士 伊藤尚美さん  
参 加 者 多治見中学校 2年生53名とその保護者76名



### 中学生には、大人に働きかける力がある！親子で防災マップを作成

多治見中学校では、毎年10月に「多中教育の日・授業参観」を実施しています。今年度、中学2年生の生徒を対象に、名古屋工業大学、清流の国ぎふ防災・減災センター、多治見市防災士の協力を得て「防災ワークショップ」を体験しました。主な活動は、地域の危険個所について書き込みながら共有し、防災マップを作成することです。

マップ作成について、生徒同士・保護者が、身近な危険個所について考え、マップ上に印をつけました。家に帰って、実際にその危険個所を観察することになっています。この様子は本日、開催された「学校運営協議会」の皆さんにも公開され、その後の会議でも話題とされました。今後の防災学習について地域との連携が期待されます。12月には、第2回目の取組として「災害について知り、災害時の自分の行動を計画しよう」という授業を予定しているそうです。

#### 主な学習内容

- 1) なぜ防災について考えるべきなのか
- 2) 災害の種類から多治見市の災害を考える
  - 多治見市の地形から
  - 浸水した多治見中学校の廊下
- 3) 土砂災害とハザードマップ
- 4) 危険個所を見つけよう
- 5) 防災マップづくり
- 6) 今後の学習の見通しについて



始めは遠くから様子を見ていた保護者の方も…



時間とともに熱が入り、生徒と一緒に危険個所を相談

#### 【保護者の感想】

- ・子ども達が、自分たちで積極的にやっていたので、脇で見ていようと思ったのですが、一緒にやってしまいました。防災については、関心があったので、しっかりと関わっていました。(笑) 家でも身近な危険個所について、話し合ってみます。

#### 【生徒の感想】

- ・身近なところの危険が、意外と多かったと思います。実際に地図にシールを貼って、そう感じました。
- ・友だちと相談しながら、危険なところを考えました。水まわりのところが危ないとわかりました。



保護者の防災に関する関心は高く、万が一にそなえて自分の命を守るためにも、家庭での話し合いは必須です。専

参観された学校運営協議会の方もこの授業に注目してみました。「地域において中学生の力を借りたいのは、実際に避難所の設営のときです。地域をよく知っている彼らの力に期待しています。」とお話をされました。



## 中津川市坂本公民館 坂本乳幼児学級

## 子どもの「育ち」を知って育てる

日 時 令和7年11月13日（木）10:00～11:30  
 講 師 郷田 恵美さん（元東濃地区社会教育振興協議会会長、中津川市の私立幼稚園元園長）  
 担 当 渡邊 恵美さん（坂本事務所所長補佐）石田 美紀さん、鈴木 愛さん（すくすくわくわくあるいこころ）  
 参加者 乳幼児学級受講者 6名

「これからまた、子育てがんばろう！と思えました。」



坂本乳幼児学級、11月は、郷田恵美先生から、「子どもの『育ち』を知って育てる」と題した教育講話を伺いました。郷田先生は、長年にわたり、中津川市の私立幼稚園元園長としてお勤めになり、中津川市の幼児教育に多大な貢献をなされた方です。現在は、ご講演活動、そして、中津川市家庭教育推進会議のメンバーとしてもご活躍です。

この長年のご経験と学びに裏付けされた貴重なお話、その内容を一部ですが、紹介します。

## 「子どもの『育ち』を知って育てる」

～21世紀の中盤を生きていく子ども達、  
 何を大切に育てたらよいのでしょうか～

## 講話の概要

① 見守る子育て・人生のスタートは  
 愛着形成から

- ・愛着形成が出来ている子は、基本的安心感をもとに新たな課題に挑戦し、これを繰り返すことで成長していくのです。（視線・接触・言葉）
- ・脳の奥に組み込まれた感覚は、一度着いたら一生消えないので。

ずっと立ってお話を  
 される郷田先生

中津川市家庭教育支援チーム（すくすくわくわくあるいこころ）の皆さんもご活躍

今回の乳幼児学級をサポートしてみえたのが、石田さん、鈴木さんでした。支援チームの活動に携わるのは、石田さんは今年から、鈴木さんは2年目だそうです。お二方も、お子さんの成長に合わせて、家庭教育支援を開始されました。新しい方の力がみなぎる中津川市の人材育成のすばらしさを感じました。



## ② 子どもの困った行動にはワケがある

- ・子どもの発達について知っているとゆとりをもって子どもに接していくます。
- ・自己確認期…イヤイヤ期と言わないで、「心のおりあいをつけることができる大切な時期」と考えます。

## ③ 幼児期、とことん遊ばせましょう

- ・この時期の子どもの遊びは非認知能力も育てます。数字では測れないですが、生きる上でとても大切な能力を獲得しているのです。

## おわりに

生まれて直ぐからの愛着形成に始まり、その年齢に応じて思う存分遊び、学んできた子は、いつも自己肯定感に裏打ちされた自信を持ち、集団の中心となって、愛と平和の精神をもち活躍していくと信じています。

最後も力強いエールでお話を締めくくられました

## 講演会後の Q &amp; A も充実

3名の方の質問を皮切りに、「黄昏泣きへの対応」「愛着の取り戻し」「集団遊びへの対応」など、多岐にわたって知ることができました。先人の知恵にふれ、学びの深まる時間でした

講話終了後の感想を真剣に書く参加者のみなさん



「今日の3つのお話は、子育ての時期に大切と限ったことではありませんよね。思春期でも、大人になっても、通じる内容ですよね。」と終了後の井戸端会議で話題になりました。子育てを学ぶ姿勢は、形式陶冶も促し、豊かな人生の歩みにつながります。専

## <園や学校の家庭教育担当の保護者・先生へ>

### 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動 啓発チラシ配布について～岐阜県からお知らせ

**話そう！** **語ろう！**

## わが家の約束 運動

家庭の豊かなコミュニケーションを  
生み出す運動です。

### 運動の取組方法

- ①家族で話し合って「わが家の約束」をつくります。
- ②取組を実践カードに記録します。
- ③実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- ④次の約束を話し合います。

### どんな約束をつくればいいの？

例えば・・・

- ◆家族みんなで早寝早起き
- ◆家でも元気に挨拶
- ◆スマホやタブレットは夜9時まで
- ◆家族みんなでそろって朝ごはん
- ◆一日一回「ありがとう」を伝え合う
- ◆目を見て笑顔で「行ってきます」
- ◆今日頑張ったことの報告会

☆子どもだけでなく、家族みんなの約束にしてみましょう。  
☆互いに大切にしてほしいことを伝え合い、約束にするのもいいですね。

### 家庭で教え、育みましょう！

家庭教育とは

### どうやって思いを伝えるの？

- 子どもは、取り組んだ感想を家族に伝えます。
- 保護者は、子どもの取り組む姿を見守り、約束が守れた時には一緒に喜び、ほめましょう。
- 守れなかった時には、守れるように励ましたり、アドバイスをしたりして、子どもの成長を応援しましょう。

約束づくりは、家族の会話のきっかけづくりです！

**実践を紹介します**

**八百津町立八百津東部中学校**

### 親子ふれあいチャレンジ

八百津町では、町内の全小中学校に向けて、「親子ふれあいチャレンジ」の啓発文書を発行しています。八百津東部中学校でも長期休業期間に「親子ふれあいチャレンジ」に挑戦しました。

### 令和5年冬休みのチャレンジ！

**親子でおもてなし**

活動を終えて  
久しぶりの食事を作るお手伝い  
だったけど、自分の頑で考え、言わ  
れたことをしっかり取り組めた。  
チャレンジしてよかったです。

**家族から子どもへ**

一人で準備するよりも短時間で  
済みました。私も喜ばれて、大成功！どうもありがとうございます。

**親子ふれあいチャレンジ**

親子ふれあいチャレンジ

親子ふれあいチャレンジ

### 令和6年夏休みのチャレンジ！

**一家庭ボランティアチャレンジ**

取り組んだこと  
「大のお世話」を中心に、「夏祭りの商品販売」や「朝度づくり」にもチャレンジ！

挨拶チャレンジ、親子読書、親子学習、自然体験チャレンジなど  
様々です。家族で話し合って決めること、そして、できることや頑張ったことを認める事を大切にしています。

ここがイイね！

12月には、上記のような「令和7年度啓発チラシ」が県内中学校宛に岐阜県環境エネルギー生活部県民生活課より送付されます。すでに7月には県内幼・保・こども園・小学校・義務教育学校・特別支援学校の幼稚部と小学部（全保護者対象）には送付されました。

家庭教育学級の年間計画を拝見しますと、冬休みの長期休業日を利用して、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動、または、それに準ずる家庭と学校をつなぐ在宅型の家庭教育学級に取り組まれる園や学校が多くあります。それぞれの取組に合わせ、チラシの配布や実践カードの記入など、有効にご活用ください。また、7月送付のチラシも予備があります。必要な園、学校がありましたらご連絡ください。

（恵那県事務所 0573-26-1111【内線208】）

### 「令和7年度家庭教育学級実施調査」及び

### 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動への取組状況調査のお願い

県内の公立小中学校・幼（稚・児）園・こども園における家庭教育学級の実施状況について、今後の県の施策に反映していく目的で、各市を通じて、調査を行います。県民生活課より各園・学校に調査の依頼があると思います。ご協力をよろしくお願ひします。

保護者組織の中に、家庭教育（子育て）委員会がなくとも、本部役員会や研修委員会等で、その役割を担っている園、学校もあると思います。家庭教育学級と名付けて実施していなくても「園・学校」と「家庭」をつなぎ、「家庭教育」を意図している取組については数に入れてご回答をお願いします。